

町役場でウォークラリー

障害者と 住民が交流

来月9日 内灘の支援団体が企画



催しの内容について話し合う実行委員会のメンバー
＝内灘町保健センター

内灘町の障害者支援団体の有志ら十人は来月九日、同町役場内を会場に、隠れたサンタを探し出すウォークラリー「サンタをさがせ」を初めて開催する。住民と障害者が催しを通じて協力し合い、相互理解を深める狙い。有志らはイベントをきっかけに、障害者と

住民の幅広い支援と交流を進めていきたいとしている。

ウォークラリーは五人一組で行い、住民が障害者と手をつないだり、車いすを押すなどして役場内に隠れているサンタを探し出す。役場の各階にはチェックポイントが設けられ、サンタ

相互理解へ初の試み

の格好をした有志やボランティアなどが待機し、参加者に障害にちなんだクイズを出す。正解すると障害者が作ったクリスマスリースがプレゼントされる。

町も役場を開放して協力し、内灘町の中高中生で組織するボランティア団体「ZERO」や星稜大の学生も参加するなど、初の試みに支援の輪が広がっている。同実行委員会の松本茂美委員長は「みんなで楽しく盛り上げたい」と話している。

「花園」での 健闘を誓う

航空二高・ラグビー部 第八十六回全国高校ラグビー県予選で二連覇を果たした日本航空第二高のラグビー部員らが十六日、輪島市役所を訪れ、梶文秋市長らに全国大会での健闘を誓った。

市の近鉄花園ラグビー場で開かれる全国大会出場を決めた。

この日は、浅川真左登校長と小林学監督、副主将の羽田龍選手（三年）、フォワードリーダーの高木健太郎選手（同）が訪問。羽田選手が「皆さんの応援に感謝し、花園での一勝を目指して正々堂々プレーしたい」と決意を語り、梶市長が激励した。

航空二高は今年五日の決勝で、羽咋工高に勝ち、十二月二十七日に東大阪